

「安倍改憲のための憲法審査会を再始動するな！」の抗議要請 FAXの集中を！

4月25日、衆院憲法審査会が開催されました。反対の声を押し切って強引に改憲を進めようとしています。

総がかり行動実行委員会の4月12日にアピールを出しました。アピールの要点は左記の通りです。

総がかり行動実行委員会の4月12日にアピールを出しました。アピールの要点は左記の通りです。

総がかり行動実行委員

衆議院憲法審査会を強行に開こうとする自民党・公明党などの改憲派の動きが、執拗に繰り返されています。

4月10日にも委員長職権での憲法審査会・幹事懇談会の開催が狙われました。3週連続の動きです。しかも、与党筆頭幹事の発言（「極めて遺憾だ。話し合いの場にすら出てこないなら、どうしたらよいか、非常に困っている」）をマスコミが無批判に報道し、一致して対応している立憲野党に分断を持ちこむ動きとなっていることも見過ごせません。

自民党の狙いが、2019年5月3日を前に憲法審査会を再始動させ、自民党の改憲案の提示の条件を整備することにおかれていることは、明らかです。

そのような狙いどおりにさせないためには、立憲野党の奮闘を後押しする市民の力が必要です。自民党などが強引な審査会運営と安倍首相が9条改憲発言を繰り返す状況が、「政局にとられず、国民の代表である国会議員が憲法論議を行い、熟議による合意形成をめざす場」とされる憲法審査会を開催する環境を壊しているのです。（略）

2019年4月12日 戦争させない・9条壊すな！ 総がかり行動実行委員会

「抗議・要請先 FAX番号」

◎自民党憲法改正推進本部長／下村博文

03・3597・2772

◎憲法審査会与党筆頭幹事／新藤義孝

03・3508・3313

◎憲法審査会会長／森英介

03・3592・9036

◎公明党憲法調査会長／北側一雄

03・3508・3533

近ごろ 思う こと 51

河田 昌東 チェルノブイリ救援・中部理事



である。過去数年間にこの技術は飛躍的に発展し、新たな産業革命になるかもと言われている。特に期待が大きいのは農畜産物の品種改良と医療分野における応用である。国内でもゲノム編集で筋肉モリモリの豚や鯛が出来る。あるいは人間の腎臓や心臓を持つ豚を作

遺伝子破壊する ゲノム編集に 600兆円！？

り、提供者不足に悩む臓器移植に使う研究が行われている。意図しない遺伝子も破壊してしまうオフターゲット等、技術的にはまだまだ未解決の問題が多くあるにもかかわらず、厚労省はゲノム編集で作った食品に関し、安全審査や表示の

必要はなく、開発企業の届け出だけで済ませる意向である。これはアメリカの主張そのままである。背景には昨年6月15日に行われた内閣府の「統合イノベーション会議」前日の安倍首相の発言がある。首相は閣僚会議の席上「この技術（ゲノム編集）を成長戦略のど真ん中に位置付け、関係大臣はこれまでの発想にとられない大胆な政策を丸とって迅速かつ確実に実行すべし」と発言した（エコノミスト…2019年1月22日号）。内閣府によればゲノム編集は今後600兆円規模の市場になると期待されている。命を金になるか否かで判断する政治は一刻も早く止めさせなければ。

昨年11月に中国の研究者が、夫がエイズ患者の夫婦の受精卵の遺伝子をゲノム編集で壊し、将来エイズに感染しにくい双子の女兒を誕生させたという研究を公表して以来、ゲノム編集という言葉がマスコミを賑わしている。ゲノム編集とは簡単に言えば、目的とする特定の遺伝子を破壊し、あるいはそこに必要な遺伝子を挿入する技術

河田昌東さんは2011年5月号「価値観の転換こそ未来をつくる」チェルノブイリを教訓に未来に種をまこう」と語っていただきました。

東西南北

清洲城ハイキング たけのこ狩り

オール名鉄革新懇



今回は、名鉄主催のハイキングに参加。西春駅を9時にスタート。北名古屋市の町並みを抜けて

五条川沿いのコースを歩く。ところどころで観られる桜の木は、3分から5分咲きといった感じ。それでも清洲城手前の堤には満開に近い桜のトンネルができ、春爛漫を実感。桜の下で昼食をとり、清洲城を見て、次は清洲桜醸造で振る舞い酒サービスの鬼ころしを味わう。新清洲駅には12時過ぎに到着し、歩数は二万歩を超えました。雨にも降られず楽しいハイキングでした。わが革新懇からは6名が参加しました。

4月14日(日)恒例の竹の子狩りをオール名鉄革新懇の仲間と新婦人の人たち20数名の参加で楽しめました。お天気続きで、竹藪の主の石井さんは、竹の子が出てこないのも制限しなければならぬいほどでしたが、直前に雨も降り当日は竹の子の頭がニョキニョキ。

願」の署名を行い10筆ありました。おみやげは持ちきれないほど、帰りがけに雨がポツポツ何とも楽しい一日でした。準備していただいた石井さんご夫妻に感謝。(植村好清)

平民懇CAFÉ

緑区平民懇

会員が気軽に語り合える場として開催している平民懇CAFÉが4月20日開催された。今回で3回目となるCAFÉのテーマは「年金」。愛知年金者組合に所属する水野三正さんに話題提供者として報告をお願いしたのち、参加者で感想、意見を交換した。参加者から「大変勉強になった」「話し合う場があつてよかった」などの感想が出された。コーヒを味わいながら和やかな交流となった。(緑平民懇ニュース147号より)

地域・職場事務室長会議 開催

4月24日(火)地域・職場事務室長会議を開催しました。選挙後の情勢を懇談。安倍改憲をめぐる状況や、市民と野党の共闘をすすめる各地の取り組みなども論議しました。

また、全国総会(5月18日)に向けて、会員・読者の拡大など、革新懇づくりについても話し合いました。

西区☆語り広場

西区革新懇

西区革新懇は季刊で『西区☆語り広場』を発行しています。第4号となる4月号は、「中小企業と消費税」と題して、北部民商の事務局長が記事を投稿。

また、「安倍政権の薦める改憲と愛知県での意外な接点」や「4月から始まる「70年に一度の働き方改革」では、西区の方々に様々な角

度から社会問題をとらえて語っていただいています。他にも絵手紙や「桜」と題した投稿など、語り広場の名前のお通り、紙面を通じて西区革新懇の会員の交流の場となっています。

すすめよう！市民と野党の共闘

参議院選挙まであと2カ月、市民と野党の共闘の実現をめざして様々な取り組みが進められています。

2区 シンポジウム

「安倍政治と民主主義」

日時：5月6日(月・祝) 13:30～

会場：吹上ホール4階・第3会議室

シンポジウムの主催は「あなたのわたしでつくる政治@千種名東守山(仮称)準備会」。愛知2区で市民と野党の共闘を進めるきっかけのつくろうと俳優のアマチンさんら15人が呼びかけ人になっています。

4区 公開討論会

「安倍政治を終わらせよう！」

日時：4月28日(日) 13:30～

会場：日本特殊陶業会館・第一会議室

市民と野党をつなぐ会@愛知4区・野党は共闘！市民アクション@愛知4区が主催。立憲民主党(高木ひろしさん)日本共産党(鈴木初美さん)自由党(高先星吾さん)社会民主党(山登志浩さん)の立憲野党5党が参加します。



4月号に投稿された絵手紙